

●播磨中学校屋内運動場  
大規模改造【新】

教育総務課 21,174千円



全面改修し、安全で快適な学習環境の充実を図ります。令和8年度は設計業務を実施します。

●蓮池小学校南校舎  
大規模改造【新】

教育総務課 15,292千円



●播磨南中学校西校舎大規模改造【継】

教育総務課 407,909千円



令和8年度は西校舎の北側半分を改修し、安全で快適な学習環境を整備します。

●プログラミングドローン授業の実施【継】

地域学校教育課 1,729千円



民間のドローンスクールに委託し、小学4年生を対象に、プログラミング授業を実施します。

●別府鉄道リニューアル事業【継】

郷土資料館 40,938千円



地域で愛されている別府鉄道の車両展示について、関係機関と連携しながら、貨物車両を追加で設置します。また、別府鉄道の魅力を発信するグッズなどの開発に努めます。

●「こども支援センター」と他機関の連携【継】

地域学校教育課 14,530千円



特別な支援を必要とする子どもに、きめ細やかな支援を行うため、各校園に支援員や介助員等を配置します。また、発達支援・生徒支援・不登校支援を行う「こども支援センター」を核として、校園や保護者、保健・福祉・医療などの関係機関や「児童発達支援センター（まにまに）」とも連携し、部局横断的な組織体制の強化を図り、切れ目のない包括的な支援に努めます。

●「漢字検定」・「英語検定」・「数学検定」  
受検料の助成【継】

地域学校教育課 531千円



町内の全小中学生を対象に、「漢字能力検定」「実用英語技能検定」「実用数学技能検定（数学検定・算数検定）」の受検料の半額を助成します。

●播磨西小学校水泳授業の民間委託【新】

教育総務課 8,193千円



播磨西小学校のプールが老朽化していることから、子どもたちが安全に水泳の授業を受けられるよう、試行的に指導を民間事業者へ委託します。

●中学校部活動地域展開【継】

地域学校教育課 49,137千円



休日の完全移行が完了した中学校部活動の地域展開について、令和10年度末までに完全地域クラブ化をめざします。

●「小学生議会」「中学生議会」の開催【継】

地域学校教育課



「小学生議会」と「中学生議会」を開催し、子どもの意見に耳を傾けます。学びの中で、播磨町の良さに気づいたり、まちづくりに参画したりする大切さを実感し、児童生徒が主体的に考える機会を提供します。また、子どもからの提案の実現に向けた取り組みを進めます。

令和8年度予算 **ピックアップ**事業

躍進の年 共に育ち 共に守り 共に創る  
～元気がめぐるまち～

播磨町がみらいに向けて力強く跳ね、颯爽と躍進する年となるよう「元気のサイクル」をさらに加速させていきます。

『学び合い共に育つまち』

子育て支援

●小・中学校における給食費無償化・幼稚園給食開始【新】

教育総務課 447,157千円



播磨町での子育てを支援するため、国における学校給食費の抜本的な負担軽減政策に基づき、小学校給食費を無償化するとともに、中学校給食費についても、町独自で無償化を行います。また、令和8年度から幼稚園において、給食の提供を開始します。

●ひとり親世帯等大学等受験料の助成【新】

健康福祉課 795千円



児童扶養手当の受給世帯など、経済的な課題を抱えるひとり親家庭の子どもを対象に、大学入試等の受験料の一部を助成します。

●産後ケア施設事業者の参入促進【新】

こども課 1,500千円



利用ニーズが増加している産後ケア事業について、新たに町内で開設または既存施設を改修する際の費用の一部を補助します。

●学童保育施設整備事業【拡】

こども課 26,382千円



定員を超えて受け入れを行っている蓮池小学校学童保育所に新たに学童保育施設を建設することで、保育環境の向上を図ります。

●不妊治療・不育症治療費の助成【拡】

こども課 4,740千円



特定不妊治療費、一般不妊治療費および不育症治療費の助成を拡充します。

●妊婦健康診査・産婦健康診査費用の助成【拡】

こども課 32,510千円



妊婦の健康の保持と増進を図るため、妊婦健康診査費用を助成するとともに、多胎妊婦には追加助成を行います。また、令和8年度からは産婦健康診査費用の助成制度を新たに設けます。

●産後ケア事業の拡充【拡】

こども課 6,773千円



産後ケア事業について、利用しやすい制度へと見直しを行います。  
●多子世帯の利用日数上限の拡充  
●通所型きょうだい児預かりの補助  
●時間単価制に見直し

●こども医療費助成事業【継】

保険課 125,595千円



子育て世帯の経済的な負担を支援するため、0歳から高校生世代までの子どもの医療費を引き続き無料とします。

●ライトアップ啓発事業【新】

健康福祉課 1,271千円



認知症月間やピンクリボン月間など様々な啓発期間に合わせて、役場第一庁舎の壁をシンボルカラーにライトアップします。啓発活動に込められたメッセージを視覚的なアプローチで広く発信することで、意識や関心を高め、理解の促進を図ります。

●「高血圧ゼロのまち」宣言・公共施設への血圧計の設置【新】

健康福祉課 444千円



令和7年度に兵庫県内で2番目となる「高血圧ゼロのまち」を宣言しました。現在、血圧計のない公共施設に新たに設置するとともに、血圧計を設置している町内の公共施設をまとめた地図を作成し、住民の健康管理を支援します。

●福祉の拠点【拡】



住民や地域からの多様化する相談に対応するため、「総合福祉センター」に「総合相談窓口」「障害者基幹相談支援センター」「地域包括支援センター」「成年後見センター」と令和8年2月に開設した「児童発達支援センター（まにまに）」を集約し、「福祉の拠点」として切れ目のない相談支援を行います。また、総合福祉センターのフリースペースで地域に住む人たちが誰でも気軽に参加できる「居場所」をつくり、住民交流の場を提供します。

都市計画

●土山駅北まちづくり【継】

都市計画課 87,826千円



土山駅北エリアにおいては、令和7年度に作成した「まちづくり基本計画」を踏まえ、土地区画整理事業の令和9年度末都市計画決定をめざします。再整備に向けた詳細な計画・設計の検討を行うとともに、これに必要な調査を進めます。

●市街化調整区域のまちづくり検討【継】

都市計画課 14,181千円



町内の市街化調整区域について引き続き関係者との勉強会や意見交換等を通じて、将来に向けたまちづくりの検討を進めます。

●歯科衛生士の配置【新】

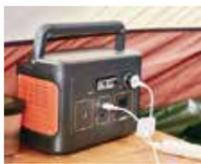
健康福祉課 1,101千円



東播磨圏域の市町では初めて歯科衛生士を配置し、乳幼児から高齢期まで切れ目のない支援や、災害時の対策など、多岐にわたる歯と口の健康づくりを推進します。

●重度障害者(児)日常生活用具給付等の助成【拡】

健康福祉課 10,196千円



障がい者(児)の日常生活用具給付について、自家発電機や蓄電池等を対象品目に追加します。加えて、点字ディスプレイや音声体温計等の対象者を拡大します。

総合福祉センター

健康福祉課 16,925千円

総合相談窓口

健康福祉課 5,601千円

成年後見センター

健康福祉課 16,637千円

児童発達支援センター

こども課 57,201千円

地域包括支援センター

保険課 32,389千円

●道路の新設改良【新】

土木課 230,000千円



道路の新設改良工事の実施により、良好な道路ネットワークを形成し、利便性の向上、安心・安全なまちづくりを推進します。

●上ノ池本荘北線 ●古宮川端線 ●大池東道路

●用途地域の見直し



兵庫県で令和10年度に予定されている用途地域の定期見直しのための調査・検討業務を実施します。

『支え合い共に守るまち』

防災減災

●総合体育館大体育室への空調整備【継】

協働推進課 208,091千円



総合体育館の大体育室に空調設備を設置することで、利用者が安全で快適にスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、大規模災害時の避難所としての環境改善を図ります。

●教職員用公用スマートフォンの貸与【新】

教育総務課 5,781千円



学校における児童生徒の安全確保のため、緊急連絡用の携帯電話（スマートフォン）を教職員に貸与します。

●学校へのマンホールトイレの整備【継】

上下水道課 44,000千円



避難所となる各小学校を対象にマンホールトイレの整備工事を実施します。令和8年度は、蓮池小学校と播磨小学校に整備します。

●住宅用火災警報器設置の助成【新】

危機管理課 200千円



高齢者や障害者手帳の交付を受けた人を対象に、住宅用火災警報器の取付費用の一部を助成します。

●福祉避難所の環境整備【新】

危機管理課 275千円

健康福祉課 918千円



各小学校に福祉避難室を設置するために、気泡緩衝材でできた折り畳み式ベッドを導入します。また、福祉避難所となる総合福祉センターに、簡易ベッドや毛布、紙おむつなど要配慮者を受け入れるための生活必需品等を備蓄します。

●被災者生活再建支援システムの導入【新】

危機管理課 3,445千円



能登半島地震での教訓をもとに、被災者の生活再建支援に活用するため、罹災証明書発行や応急危険度判定、家屋被害認定等の業務を行う災害対応システムを導入します。

●総合防災訓練・防災学習の実施【継】

危機管理課 555千円



すべての住民を対象とした総合防災訓練を、11月15日に実施します。また、町内小学校区にて防災学習を行います。

●個別避難計画作成補助金【新】

危機管理課 375千円



新たに自主防災組織等が避難行動要支援者の個別避難計画作成した場合に補助金を交付します。

●中学校へのAEDの設置【拡】

教育総務課 274千円



生徒や地域の人々が安心して屋外で活動できるよう、町立中学校の敷地内に新たにAEDを設置します。

●見守りサービス【継】



安全な登下校のため、また行方不明時に早期発見・保護ができるよう、BLEタグ（見守りタグ）の利用料を全額助成します。また、見守りタグの利用助成の対象となる認知症の人が日常生活における偶発の事故により、第三者の身体または財物に損害を与え、本人や家族が法律上の責任を負った場合に、損害賠償金を保険補填するため、個人賠償保険に町が加入し、保険料を負担します。

利用料助成

保険課 429千円

健康福祉課 449千円

地域学校教育課 977千円

損害賠償保険料

保険課 203千円

健康福祉課 52千円

## 広域連携

### ●学校給食における地元食材の活用【継】

産業環境課 3,003千円



こどもたちの地産地消の意識醸成を図るため、地元産品や加工品を給食の食材として提供します。令和8年度は、稲美町との協定に基づき、両町の産品を相互に取り入れながら地域での地産地消を推進します。

### ●クアオルト健康ウォーキング【新】

健康福祉課 1,050千円



令和7年度に兵庫県で唯一「クアオルト健康ウォーキング」を導入している多可町と連携協定を締結し、生活習慣病やロコモティブ・シンドロームの予防に取り組みます。

## 生涯学習

### ●「はりま春風フェス」【継】

(開催日 4月25日)

### ●「大中遺跡まつり」【継】

(開催日 11月7日)

### ●「播磨町ロードレース大会」【継】

(開催日 1月24日)



協働推進課 40,623千円

皆さまに楽しんでいただけるイベントを企画するとともに、まちの魅力を発信します。

### ●小学校運動場の開放【継】

協働推進課 1,774千円



子どもたちが体を動かせる機会を提供するために、平日の放課後に小学校運動場を開放します。

### ●「図書館を使った調べる学習コンクール」【継】

地域学校教育課 194千円



住民の読書活動の推進につながるように「図書館を使った調べる学習コンクール」や図書館が実施するイベントなどにおいて支援を行います。

## 協働・行政

### ●「はりま音頭」「はりま☆土器ドキ☆ダンス」動画制作【拡】

企画課 2,607千円



本町で長く親しまれてきた「はりま音頭」と「はりま☆土器ドキ☆ダンス」の振り付けを、楽しく覚えらるる動画を制作し発信します。幅広い世代に、様々な場面で踊るきっかけを広げていくことで、郷土への愛着を育みます。

### ●喜瀬川こいのぼり【新】

協働推進課



子どもたちのしあわせとすこやかな成長を願って、春風に吹かれ大空を泳ぐこいのぼりをふるさと橋に掲げます。

### ●自治会公民館への補助【継】

協働推進課 18,625千円



自治会公民館の設備や備品を充実させることで、自治会活動の振興を図るため、自治会公民館の施設整備や備品購入費を補助します。

### ●まちづくりパートナー事業補助金【継】

協働推進課 2,160千円



「協働のまちづくり」を推進するため、行政と協働して地域活動の活性化に取り組む団体等に対して、「まちづくりパートナー事業補助金」を交付します。

### ●組織機構改革の効果検証【継】

総務課



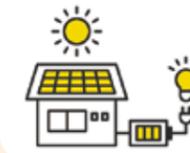
令和7年度に実施した「組織機構改革の効果検証」や「業務量の棚卸調査」の結果を踏まえ、部署の再編を検討するとともに、適正な職員定数管理に取り組みます。

## 『チカラを合わせ共に創るまち』

## 環境

### ●自家消費型住宅用太陽光発電システム等設置費用の補助【新】

産業環境課 3,510千円



住宅に太陽光発電システム及び蓄電池システムを設置し、発電した電力を自家消費する場合に、設置費の一部を助成します。

### ●V2H充放電設備設置費用の補助【新】

産業環境課 500千円



電気自動車等の普及を推進するため、家庭用電気自動車等充放電設備(V2H)の設置費用に対して補助金を交付します。

### ●充電ステーション設置費用の補助【継】

産業環境課 1,000千円



地球温暖化防止に向けた温室効果ガス排出量の削減を推進するため、電気自動車やプラグインハイブリット自動車のための充電ステーションを設置する町内の事業所や店舗等に対し、設備購入費用の一部を助成します。

### ●エネルギーの地産地消【新】

産業環境課



「エコクリーンピアはりま」で発電したCO<sub>2</sub>フリーの電力を2市2町の公共施設に供給するため、地域新電力会社「とうぼんクリーンエナジー株式会社」を新たに設立しました。エネルギーの地産地消を進めることで、二酸化炭素排出量の削減と地域循環経済の構築をめざします。

## 商工業・産業

### ●空き店舗等活用の補助【継】

産業環境課 3,900千円



町内の空き家、空き店舗等を活用して新規出店する事業者に対し、改修費用や賃借料、広告宣伝費の一部を補助することにより、遊休ストックの利活用促進と地域経済の活性化を図ります。

### ●融資制度信用保証料の負担【継】

産業環境課 2,000千円



播磨町商工会や金融機関と連携して、兵庫県中小企業融資制度の融資を受ける小規模事業者の信用保証料の一部を町が負担することで、経営発達を支援します。

### ●住宅リフォームの助成【継】

産業環境課 9,000千円



中小企業への支援策として、町内業者の施工による住宅リフォームに対し助成を行うことで、町内産業の活性化と住民の居住環境の向上を図ります。

### ●ふるさと納税の推進【継】

産業環境課 3,066千円



町内事業者等と連携しながら魅力ある返礼品の充実に取り組み、事業者の販路拡大を支援します。

## 人権

### ●「播磨町いきる・そだつ・まもる・こどもの権利条例」の推進【継】

こども課 4,738千円



令和8年4月に施行される「播磨町いきる・そだつ・まもる・こどもの権利条例」について、小中学生向け、一般住民向け、こどもに関わる専門職向けの講演会をそれぞれ開催するとともに、公募で選ばれたこどもたちが話し合う「こども会議」を開催します。また、こどもからの相談に対応できる相談専用ダイヤルを設置し、擁護体制を構築します。